



～平成30年度第1回コア会議が開催されました～

平成30年8月3日（金）に「公園マネジメント会議・平成30年度第1回コア会議」が、地球市民交流センターにて開催され、16組のコア会員の出席がありました。

「次年度以降のモリコロパーク春秋まつりについて」と題し、財源の確保が難しい今後の春秋まつりについて、存続の可否、イベント運営方針等、公園マネジメント会議としての方針などについて話し合われました。



次年度以降のモリコロパーク春秋まつりについて

（討議）今後、県の財源が確保できない場合の春秋まつりについて、長く関わってきた公園マネジメント会議の方針を決めよう！

- ・モリコロパーク春秋まつりの経過と現状について、事務局より報告がありました。
- ・次年度以降は、県の財源がなくなるため、これまで通りのモリコロパーク春秋まつりは開催出来ないということで、マネジメント会議としての方針を、改めて定めるべく意見交換が行われました。

春まつりを春休みフェスティバルとして開催した結果は？

- ・最初の2日間の「春まつり」を皮切りに、2週間に渡り「春休みフェスティバル」が開催された。
- ・「大道芸フェスティバル」等、様々な催事やワークショップ等があり、来場者数は、平日でも3～4千人、土日は1万人以上という開催実績であった。

「まつり」を予算ゼロでやっていくことは可能か？

- ・「大道芸フェスティバル」等、各団体が予算を準備して開催しているものは現にあり、それだけでもかなりの動員数で、イベントとして成り立っている。「パートナーフェスティバル」も予算ゼロである前提で開催されている。
- ・通常、民間企業がイベントを行う際は、会場使用料から費用が発生する。モリコロパーク自体、集客可能で魅力的な場所であり、我々は、その会場使用料が既に棒引きされているメリットを意識するべきである。

グループワークまとめ

●資金の捻出方法

＜意見交換＞

- ・ゴミ処理費等、**最低限の固定経費は必ず必要**であり、それは**開催側が賅う**べき。
- ・出店料等、**出店する団体から徴収**。ただし、すべて一律ではなく、出店内容、出店場所、出店規模により区分けをする。
- ・入場料、参加費等、**来場するお客様より徴収**。
- ・人気のある飲食系イベント、大型イベントとの**共同開催による費用の捻出**。
- ・企業、NPO、行政、各々の立場で共通していることは、**参加団体として、ボランティアベースで活動することはできるが、金銭的な要求をされると難しい**ということである。
- ・**駐車場料金**を、一部でも、イベント出店者側に回してもらえると、一層集客にも励みになる。



●「まつり」の開催方法

＜意見交換＞

- ・他のイベントとの**統合・共催**により、事務局一本化、広報も任せられる等、メリットが大きい。
- ・「春」「秋」という、他のイベントが多くある時期を外して、違う時期に「まつり」を開催する。
- ・広くたくさんの人を対象とする「まつり」ではなく、**内容の濃い、的を絞った路線**もよいのではないかと。「ハハノワ」「鯨しし」など、イベントの柱を色濃くする方策で成功している団体もある。
- ・**「まつり」にとって、一番重要なものは「事務局」**である。
- ・各団体が集まって「まつり」を開催することの意義を把握できていないのではないかと。**各団体が方向性や目標を明確にすることで、「まつり」への参加意識が高まり、継続性へ結びつく**のではないかと。
- ・「まつり」として、地元の応援も得られるような、**他にはない特色を出す**必要がある。

●「まつり」の継続の可否

＜意見交換＞

- ・**予算をゼロにする手段として、「誰が」「何を」するかが大きな問題**であり、その「誰か」に全部の負担が掛かるようであれば、**「まつり」の継続は不可能**ではないかと。
- ・**マネジメント会議のPRのために「まつり」は継続したい**。同時に、費用の確保、経費の削減は必須。
- ・経費削減のため、**「春」か「秋」、どちらかに絞る**。



■全体共有

- ・この会議での議論が、実際に「春まつり」「秋まつり」に生きていないのが現状としてあるので、単独でなくともよいので、**会員の皆さんが、まずは分科会に入ることが重要**である。皆が分科会で行動することが次のステップとなる。
- ・**「まつり」に掛かる費用については、必要不可欠なものとして、誰が担保するのかというところまで踏み込んでいかないと、出口が見えない**。

※今後の「まつり」に関わる仕組みを変えていく上では、イベント分科会の方でも、この会議での議論の**情報を共有**していただきたい。

※マネジメント会議としても、次回コア会議前の企画ミーティングで、今日の議論を踏まえ、県だけに任せるのではなく、会員の皆さんの知恵を集めながら、**現実的な予測が可能な「たたき台」を準備**する。

※次回の第2回コア会議では、内容をさらに掘り下げ、マネジメント会議として、「モリコロパーク春秋まつり」の今後の方針について、意思決定をする方向で進めていく。

知ってましたか？〇〇 & 分科会活性化プロジェクト

- ・「日本さくらの会・愛知」より活動の紹介がありました。
- ・愛・地球博記念イベント企画運営分科会より、H29年度「春まつり」の活動報告がありました。

日本さくらの会・愛知

モリコロパーク内にも、「里帰り桜」「日本三大桜」等、桜の植樹、育成をしている。今後も、植樹した桜の保全、「さくら市民講座」開催等、予定している。



イベント企画運営分科会

H29年度「春まつり」を開催するにあたり、3ヶ月前より分科会の団体を募集し、10団体が集まった。全体及び各々の企画内容について議論し、終了後、今後に向け反省会を行っている。



お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課(協働グループ) 担当: 杉山
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL: 052-954-6491 FAX: 052-953-5329

公益財団法人愛知県都市整備協会愛・地球博記念公園管理事務所 担当: 吉野
〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL: 0561-64-1130 FAX: 0561-61-2150

公園マネジメント会議 HP: http://www.pref.aichi.jp/koen/AI_CHIKYU/ParkManagement/managementHP/